

SDGs委員会11月活動報告書

■活動名

工場棟の照明更新（水銀灯のLED化）

■活動の経緯と目的

『2030年までに、取扱量1tあたりのCO₂排出量を2020年度比30%削減する。』という目標の達成に向け、工場棟の照明（水銀灯）30機を水銀灯からLEDに変更いたしました。

目的：SDGs目標13「気候変動に具体的な対策を」

■活動の成果

水銀灯をLEDに変更したことにより、年間消費電力量およびCO₂排出量を削減することが可能です。

項目	更新前（水銀灯） 2024.11月～2025.10月	更新後（LED） 2025.11月～2026.10月 (予測値)	削減量 (予測値)
年間消費電力量	15,601 kWh/年	4,547 kWh/年	11,054 kWh/年
CO ₂ 排出量	6.7 tCO ₂ /年	2.0 tCO ₂ /年	4.8 tCO ₂ /年

また、工場全体の照度が上がったことにより工場作業の効率化、および夜間（夕方）の作業時の事故防止につながっています。

■感想と今後について

当社では「2030年までに、取扱量1tあたりのCO₂排出量を2020年度比30%削減する」という環境目標の達成に向け、今月、水銀灯照明のLED化を実施しました。LED照明への切り替えにより、年間で約5tのCO₂排出量削減が見込まれており、環境負荷低減に向けた重要な施策となっています。

加えて、LED化は作業環境の改善にも大きく寄与しています。特に冬季は日没が早く、工場内での照明使用が増える時期ですが、従来は作業内容に応じて明るい場所へ移動する必要がありました。LED導入後は工場全体の照度が向上したことで、移動の手間が減り、作業効率の向上を実感しています。

また、視認性の向上は安全面にも効果をもたらしています。荷下ろし作業における視界が確保されることで、従業員およびお客様に関わる事故・怪我の防止につながり、より安全な作業環境の実現に寄与しています。

当社は今後もSDGsの理念に基づき、環境負荷の低減と働きやすい職場づくりの両立に向けて、継続的に取り組んでまいります。